

## 薬剤師レジデント後期がん専門コース（2年目）

到達目標：専門性の高い領域において高度な薬学的知見を提供し、臨床的課題を基に科学的根拠を産出することができる

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務 スケジュール	午前	調剤 / 管理 / 製剤 / 化療			病棟（泌尿器科）			外来ケモ			病棟（腫瘍血液内科）		
	午後	病棟（呼吸器内科・皮膚科）			DI / TDM / 製剤 / 化療			病棟（小児科）					
	チーム医療	緩和						緩和・NEST・ICTから1つ選択					
	休日業務	月に1回程度（代休付与）											
	症例検討会 スキルアップセミナー	スキルアップセミナー：毎週 症例検討会：毎月											

教育 スケジュール	実務実習指導	薬学実務実習指導											
	レジデント指導	レジデント前期生指導											
	PBL											PBL	
	臨床医学基本実習								実習				
	IPW									IPW			

研究 スケジュール	臨床研究	テーマ再検討	データ収集・解析						(論文執筆)				
	発表		研究検討会	(必要に応じて)						各種学会			

評価	レジデントレポート	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	
	症例レポート	月2例以上												
	成果発表会													成果発表会
	研究評価	研究面談		研究面談		研究面談		研究面談		研究面談		研究面談		研究面談
	業務評価	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談
	全体評価	部長面談						部長面談						部長面談

補足：

レジデントレポート：当月の振り返りと翌月の目標・計画を立案（業務提案含む）（月1回）

症例レポート：各領域（病棟）で経験した症例を報告書として提出する。形式は日本医療薬学会の薬物療法専門薬剤師申請における症例報告の形式に則る。

成果報告会：概要参照

研究評価：1年目に引き続き同様のテーマで行うか、新たにテーマを設定するかについて研究メンターと相談し実施する。未完了のものの続きを行う場合は研究検討会を必要としない。

その後、研究メンターが研究テーマについて面談を行い、進捗を確認する。

業績評価：研修メンターがサポート面談等を通じて実施する（概要参照）。

全体評価：薬剤部長が面談を実施し、レジデント研修の進捗や評価等を行う。

その他：実務実習生やレジデント1年目を指導する（レジデント1年目のプリセプター）

疾患領域と病棟：	精神疾患	第二病棟
	神経・筋疾患	9南、9北
	骨・関節疾患	5南、5北
	免疫疾患	9南、9北
	心臓・血管系疾患	7南、7北
	腎・泌尿器疾患	11北
	産科婦人科疾患	母子センター
	呼吸器疾患	6北
	消化器疾患	8南、8北
	血液および造血器疾患	4北、4南
	感覚器疾患	6南
	内分泌・代謝疾患	10南、10北
	皮膚疾患	6北
	感染症	全病棟
	悪性腫瘍	多くの病棟
	その他（どれにも分類されない場合、外来患者の定期的指導なども含む）	

黄病棟	9北	9南	4北	4南	第二	
青病棟	11北	10北	10南	8北	8南	
ピンク病棟	7北	7南	6北	6南	5北	5南